



地震直後の県庁内の様子

## 3.16 本県沖地震

2月定例会終盤、私の総括審査会の質問を翌日に控えた深夜、福島県沖を震源とするM7.4の地震が発生しました。

11年前の震災の記憶を呼び起こす大きな揺れとともに直後の津波の心配、停電や断水のなか不安な夜を過ごされた県民は少なくありませんでした。私も身も宿泊所のホテルにおりましたが、2回目の揺れの後、すぐに県庁に向かい、被害状況の確認に努めました。

地震の翌日には、総括審査会で会派を代表して質問に臨む予定、準備を進めていましたが、緊急の理事会で中止が決定したため、改めて次の機会を待ちたいと思います。

さて、被災直後は県の災害対策本部を通じて情報を収集しておりました。瓦礫の撤去など進むなか、被災者や被災事業者の負担にならないよう時期を考慮し、3月25日に自民党県連政調会の商労文教部会長として被災地域を視察してまいりました。(詳細は裏面)。

調査の結果、地震の被害は昨年2月の規模を遙かに上回っており、すぐに我が会派として県連会長の根本匠衆議院議員(福島2区)を通じて、政府への支援を要請いたしました。

3月28日、岸田文雄総理は、参議院決算委員会の質疑のなかで、昨年2月の地震で適用したグループ補助金を再び本県に適用するといった趣旨の答弁を行い、極めて異例ともいえる決断を下しました。県としても、災害救助法の適用外となる一部損壊にあたる住宅に対する独自の支援策を創設しております。

これから水田に水を張る時期を迎えます。今後、農業水利施設の被災箇所が徐々に明らかになると想定しておりますので、引き続き注視していきたいと考えております。



## 令和4年度当初予算

前年度比0.7%増の1兆2,677億円  
県議会は37日間に及ぶ審議を終え、3月22日に閉会しました。今定例会では、一般

会計予算を含む知事提出議案8件について可決または承認しました。また、会期中に発生した地震により、2日間の総括審査会が中止となるなど日程の変更もありましたが、商労文教委員長として最終日の本会議で審査経過の報告を行いました。コロナ禍で厳しい状況にある県内の商工業や観光業を守り、子ども達の教育環境充実のため、今後も一層研鑽に励んで参ります。



## 岩合光昭の 世界ネコ歩き2

2022年3月19日(土)～5月22日(日)

開催時間 9:30～17:00(入場は16:30まで)  
休館日 毎週月曜日、5/22(火)、ただし5/21(月・祝)は開館  
料金 全席自由 観覧料 大人1,500円(税込)、小学生以下500円(税込)  
主催 福島県立美術館 協賛 福島県立美術館 後援 福島県立美術館



動物写真家として、いまや世界中にファンをもつ岩合光昭(1950-)。福島県立美術館で企画展「岩合光昭の世界ネコ歩き2」が開催されます。ネコたちの屈託ない立ち居振る舞いや、動物たちの飾らない愛情にみちた姿をお楽しみください。

展示期間/2022年3月19日～5月22日  
詳しくは、福島県立美術館のホームページをご覧ください。





### 3月25日 被災地調査

福島県議会自民党議員会では、3月16日に発生した地震の被害状況を確認するため、被害を受けた相馬市、伊達市、国見町、二本松市の現地調査を実施しました。

今回の調査には、私佐藤憲は商労文教部会長として、佐藤郁雄県議は政務副会長として参加しております。相馬市では、相馬港2号ふ頭と3号ふ頭、松川浦漁港について、相馬港湾建設事務所の担当者から詳しい説明を受けました。



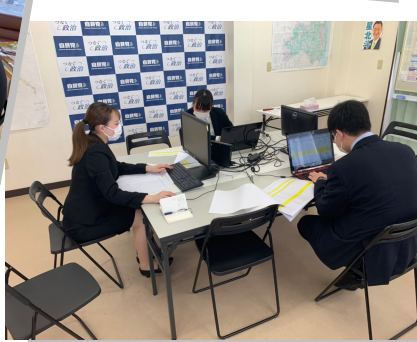
相馬港と松川浦漁港では、地震により各所で地面のクラックや段差、液状化現象が発生するなど、昨年2月に発生した地震以上の被害が出ており、今後は原形復旧でなく改良復旧が必要になるなどの説明を受けました。伊達市と国見町では、伊達橋の橋桁に40cmのずれが生じているなど現状を確認しました。続いて、国見町役場にて引地町長から町内の被害状況の説明を受けたほか、今回の地震被害に対するグループ補助金の適用や行政の支援等についての要望をいただきました。道の駅「国見あつか



の郷」では、建物の損傷のほか、周囲の地盤沈下を確認しました。二本松市では、岳温泉の被災した宿泊施設等の被災状況を確認しました。損壊した建物の壁や設備等を視察するとともに経営者の方から、今回の地震被害からの復旧のための支

援について要望を受けました。改めて、被災された皆様にご挨拶を申し上げます。今後、被災者の皆様

が一日も早く日常を取り戻せるよう、国や県、市町村と緊密に連携を図りながら取り組んで参ります。



2月定例会中、ドットJPの議員インターンシッププログラムを活用して、福島大学の学生3名を受け入れました。最初は緊張した面持ちで参加していた学生も、前半に行った2泊3日の会津合宿で少しずつ慣れ、終盤には積極的に質問する姿勢が見られました。会津では、商工会議所の渋川恵男会頭に長年に渡る七日町の再生事業についてお話を伺い、学生らも実践的な街づくりに興味津々といった感じでした。

### 学生 インター シップ

スマートシティA i C Tでは館内を案内して回り、会津若松市の取組について私から説明しました。また会津大生2名との意見交換の場を設けたところ、学生同士で刺激を受けていたようです。県庁では、本会議・委員会の傍聴を実施しました。今後も若い世代の政治への関心を促すため、この取組を実施して参ります。インターンシップを希望の学生は、HPをご覧ください。

**編集後記**  
新年度に入り、新型コロナウイルス感染症が拡大してから3年目を迎えました。マスク着用も日常的な風景となり、いつ、どのタイミングで外せば良いのか行政として難しい判断となります。飲食店は未だ厳しい状況にあるなか、会津若松市では恒例のさくら祭りを開催すると市長が決断しました。十分な感染対策を実施した上で、桜を愛でたいと思います。

- 4月の主な政務
- 【2日】ふくしま未来政治塾(郡山市)
- 【5~7日】経産省セミナー受講(東京都)
- 【8日】県立高等学校入学式
- 【10日】街頭演説会(福島市)
- 【17日】自民党県連セミナー(郡山市)
- 【21日】造園建設業会津支部懇談会
- (3月31日現在)